実施期間　令和４年度（令和４年4月１日～令和５年3月31日）

令和５年５月17日

NIKKEN
日建建設株式会社

環 境 経 営 方 針

私たち日建建設株式会社は、数多くの建設事業をお客様の信頼とともに拡げてきました。社会の高齢化、都市の温暖化、環境の保全といった課題にも果敢に取り組み、長年築き上げてきた技術と実績を基盤として、さらに一歩進んだ商品開発や質の高いサービスの提供を目指すと共に環境経営の継続的改善に努めます。

1．当社の事業において環境への負荷を削減するために、以下の取組を行う。

（1）車輌、重機、機械類のエコ運転に努め、燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減する。

（2）事業所で使用する電気の省エネルギー化を推進し、二酸化炭素排出量を削減する。

（3）全社員の節水に対する意識を高め、節水コマ等により水使用量を削減する。

（4）建設廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進することにより、産業廃棄物の最終処分量を削減する。

（5）事務用品のグリーン購入を推進する。

2．当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守する。

3．地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。

4．環境活動レポートを作成して公表することにより、環境コミュニケーションを推進する。

制定日　平成２２年　９月１５日
改定日　平成３１年　４月　１日

日建建設株式会社

代表取締役　　金子 幸生

1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	日建建設株式会社 代表取締役　金子　幸生
(2)所在地	(本社)　〒810－0044　福岡市中央区六本松三丁目16番33号 (資材倉庫)　〒819－0162　福岡市西区今宿青木字法導寺28番3号
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	営業部　山下　雄輔(担当者兼務) 連絡先　電話;092-731-2434　e-mail:yuusuke@nikken-co.jp
(4)事業の内容	建築構造物、土木構造物の施工及び管理、宅地建物取引業 1)特定建設業　福岡県知事許可(特－29)第22182号　建築工事業ほか 2)一般建設業　福岡県知事許可(般－29)第22182号　土木工事業 3)一級建築士事務所　福岡県知事登録　　第1－11017号 4)宅地建物取引業　福岡県知事(7)　　第13275号
(5)事業の規模	
(6)事業年度	4月～翌年3月

指標	単位	(2018年 4月~2019年 3月)	(2019年 4月~2020年 3月)	(2020年 4月~2021年 3月)	(2021年 4月~2022年 3月)	(2022年 4月~2023年 3月)
工事等の件数	件	115	176	202	136	210
従業員数	人	23	23	23	22	27
売上高	万円	145,900	310,765	327,215	194,857	260,131
事務所床面積	m2	移転前　307.4移転後　281.38	281.4	281.38	移転前　281.38 移転後　527.81	527.81
倉庫床面積	m2	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320

建　築　事　例

■平成 29 年度公営住宅（大井住宅）新築工事
福岡市博多区大井 2 丁目
施主　　：福岡市長
設計・監理：福岡市住宅都市局住宅部住宅建設課
工期　　：H. 30. 3. 6～R. 1. 7. 28
構造・階数：RC 造（地上 8 階）
用途　　：市営住宅
敷地面積　：2, 286. 49 ㎡
建築面積　：460. 52 ㎡

■（仮称）サンクス博多駅南新築工事
福岡市博多区博多駅南 3-8-14
施主　　：TH&mnks 株式会社
設計・監理：株式会社傳設計
工期　　：H. 29. 10. 5～H. 31. 1. 31
構造・階数：RC 造（地上 12 階）
用途　　：共同住宅　42 戸
敷地面積　：　424. 27 ㎡
建築面積　：　231. 24 ㎡
延床面積　：1. 841. 12 ㎡

■ファーネスト春日原ルクシア新築工事
福岡市博多区西春町 4-3-15
施主　　：株式会社ファミリー
設計・監理：株式会社マサキ設計事務所
工期　　：H.30.8.1～R.1.8.29
構造・階数：RC 造（地上 7 階）
用途　　：共同住宅　26 戸
敷地面積　：1,138.77 ㎡
建築面積　：　607.59 ㎡
延床面積　：2,528.75 ㎡
延床面積　：2,735.23 ㎡

■（仮称）博多冷泉町ビル新築工事
福岡市博多区冷泉町 10-23
施主　　：昭和住宅株式会社
設計・監理：株式会社太陽設計
工期　　：R.1.10.1～R.2.12.25
構造・階数：S 造（地上 10 階）
用途　　：オフィスビル
敷地面積　：　451.54 ㎡
建築面積　：　345.36 ㎡
延床面積　：3,029.90 ㎡

2. 認証・登録の対象範囲・活動範囲

・全組織

・事業活動　建築工事業、土木工事業、

一級建築士事務所、宅地建物取引業

3. 実施体制

4. 環境経営目標

	環境目標	単　位	基準値	**令和 4 年度**	次年度目標 （令和 5 年度）	中期目標 （令和 5 年度）
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減（売上高百万円当たり）	*kg-CO_2/百万円* *（基準年比）*	12.839 （H27～H30 年度実績の平均）	**12.634 以下** **（−1.6%）**	12.582 以下 （−2.0%）	12.582 以下 （−2.0%）
2	施工現場水使用量の削減 （売上高百万円当たり）	*m^3/百万円* *（基準年比）*	1.263 （H27～H30 年度実績の平均）	**1.243 以下** **（−1.6%）**	1.238 以下 （−2.0%）	1.238 以下 （−2.0%）
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上 （リサイクル率 85%以上を維持する）	*%*	85.0	**85.0 以上**	85.0 以上	85.0 以上
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力＋車輌の燃料 （平成 29 年度実績を維持する）	*kg-CO_2*	41,818 （H29 年度実績）	**41,818 以下**	41,818 以下	41,818 以下
5	本社の廃棄物排出量の削減 （事業所一般廃棄物）	---	**排出量の削減に努める**			
6	グリーン購入（事業所） ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上	*%* *（グリーン購入率）*	90%以上	**90%以上**	90%以上	90%以上
7	建設工事における周辺環境配慮		**近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する**			

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.347kg-CO_2/kWh（平成 30 度九州電力）を使用しました。

5. 環境経営計画

（1）施工現場の二酸化炭素の排出量の削減（売上高百万円当たり）

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	電気使用量削減（施工現場）	古川	1	間引き照明の実施，LED照明の採用	作業所長	←→	←→	←→	←→
			2	使用頻度の低い箇所の照明OFF		←→	←→	←→	←→
			3	パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←→	←→	←→	←→
2	重機・機械類の環境配慮（協力会社へ依頼）	古川	1	エコドライブの励行	作業所長	←→	←→	←→	←→
			2	ハイブリッド車の積極導入		←→	←→	←→	←→

（2）施工現場水使用量の削減（売上高百万円当たり）

取組目標	取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現場事務所での節水	古川	1	節水活動の推進	作業所長	←→	←→	←→	←→
施工現場での節水	古川	2	協力会社への依頼	作業所長	←→	←→	←→	←→

（3）産業廃棄物のリサイクル率の向上（リサイクル率 85%以上を維持する）

取組目標	取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
リサイクル率85.0%を維持する	古川	1	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	中山	←→	←→	←→	←→
		2	現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に行い、責任者に報告する		←→	←→	←→	←→
		3	産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイクルについて確認する		←→	←→	←→	←→

（4）本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力＋車輌の燃料（平成 29 年度実績を維持する）

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	電気使用量削減（平成29年度実績を維持する）	須藤	1	パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←→	←→	←→	←→
			2	エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←→	←→	←→	←→
			3	エアコンフィルターの清掃	松ケ下	←→		←→	
			4	昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←→	←→	←→	←→
2	ガソリン使用量前年度削減（平成29年度実績を維持する）	須藤	1	車の空調温度を適正に設定する	山下	←→	←→	←→	←→
			2	社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←→	←→	←→	←→

（5）本社の廃棄物排出量の削減（事業所一般廃棄物）

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の削減	井上	1	会議などの開催案内はメールでする	稲尾	←→	←→	←→	←→
			2	事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←→	←→	←→	←→
			3	パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←→	←→	←→	←→
			4	分別の徹底	井上貴	←→	←→	←→	←→

（6）グリーン購入（事業所）ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%	江口	1	社内で使用する事務用品・OA機器などはグリーン製品から選択する	江口	←→	←→	←→	←→
2	周辺環境に配慮した行動の促進	〃	2	毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	井上貴	←→	←→	←→	←→

（7）建設工事における周辺環境配慮（近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する）

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	重機等を使用した騒音の可能性がある作業をする際は、周辺に配慮した取組を行う	井上	1	騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒音に対する意識付けを強化する	松尾	←→	←→	←→	←→
2	騒音対策以外に、近隣住民に配慮した取組を実施する	〃	2	近隣に配慮した取組を各現場ごとに工夫して行う	井上	←→	←→	←→	←→

6. 環境経営目標の評価

	環境目標	単　位	令和 4 年度目標	令和 4 年度実績	達成状況
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減（売上高百万円当たり）	*kg-CO_2/百万円*	12.634 以下 （-1.6%）	**14.36**	×
2	施工現場水使用量の削減 （売上高百万円当たり）	*m^3/百万円*	1.243 以下 （-1.6%）	**0.9**	○
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上 （リサイクル率 85%以上を維持する）	*%*	85.0 以上	**95.10**	○
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力＋車輌の燃料 （平成 29 年度実績を維持する）	*kg-CO_2*	41,818 以下	**45, 063**	×
5	本社の廃棄物排出量の削減 （事業所一般廃棄物）	*t*	排出量の削減に努める	**1.54**	○
6	グリーン購入（事業所） ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上	*%* *（グリーン購入率）*	90%以上	**97.8**	○
7	建設工事における周辺環境配慮	---	近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する	**実施できた**	○
項目評価		産業廃棄物のリサイクル率の値は、良い数値を継続出来ている。また本社の廃棄物排出量も改善された。 一方、施工現場の二酸化炭素の排出量は、熱中症対策でエアコンの稼働時間がかなり増えたことも原因となり、前年より増加した。 また、本社移転で全体の面積が増えたこともあり、本社のエアコン稼働時間も増加し、目標達成に至れなかった。		

※売上高の算出は、電力および水の使用があった現場のみを対象としています。

①施工現場の二酸化炭素の排出量計算対象売上高　…　1,683 百万円

②施工現場の水使用量計算対象売上高　…　1,683 百万円

7. 環境経営計画の取組結果と評価

（1）施工現場の二酸化炭素の排出量の削減（売上高百万円当たり）

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減 （施工現場）	間引き照明の実施，LED 照明の採用 使用頻度の低い箇所の照明 OFF パソコン、コピー機の不使用時電源 OFF	○ ○ ○	意識的に取り組んだ 消灯が徹底されている 実施できている
協力会社への依頼	エコドライブの励行 ハイブリッド車の積極導入	○ ○	実施できている 契約時に協力業者へ依頼
項目評価	協力会社と共に意欲的に取り組んだが、やはり夏にはエアコン使用量が増加してしまうので、クールビズの期間を早める等の対策を、来年以降は計画している。		

（2）施工現場水使用量の削減（売上高百万円当たり）

目標	活動項目	実施状況	評価
現場事務所での節水	節水活動の推進	○	継続して実施している
施工現場での節水	協力会社への依頼	○	継続して実施している
項目評価	今年は数値的には増加したが目標を達成できている。 このまま継続できるように社内教育を定期的に行っていく。		

（3）産業廃棄物のリサイクル率の向上（リサイクル率 85%以上を維持する）

目標	活動項目	実施状況	評価
リサイクル率の向上	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に行い、責任者に報告する 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイクルについて確認する	○ ○ ○	目標達成 諸官庁に報告済 処理施設確認済
項目評価	昨年度から計測の仕方を変え本格的に取り組み始めたが、昨年度に引き続き高い数値で目標達成となった。来年度以降も高い水準で数値を達成していきたい。		

（4）本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力＋車輌の燃料（平成 29 年度実績を維持する）

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減（事業所）	パソコンとコピー機の節電機能を活用する エアコン設定温度を適正に設定する エアコンフィルターの清掃 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	○ × △ ○	実施を継続している 熱中症対策で温度を保てなかった 会社の定期清掃で実施 意識できている
ガソリン使用量の削減	車の空調温度を適正に設定する 社用車の効率的な使用を徹底する	○ ○	社内掲示物周知 相乗りを呼びかけた
項目評価	数値として見れば目標未達成となったが、本社が新社屋に移転後、面積自体が広くなり、エアコンの使用率が上がった事が原因として考えられる。よって、そもそもの数値の見直しも必要になってくると考えている。他の項目は意欲的に取り組めていた。		

（5）本社の廃棄物排出量の削減（事業所一般廃棄物）

目標	活動項目	実施状況	評価
可燃ごみ、不燃ごみの排出量の削減	会議などの開催案内はメールでする 事業報告書等は適正部数印刷する パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施 分別の徹底	○ ○ △ ○	メールにて一斉配布を行っている 適量印刷出来ている 教育の継続が課題 細かい所まで分別出来ている
項目評価	昨年同様社内会議のアナウンスなどメールで案内を送ることは習慣化されてきている。ゴミの分別は、ほぼ完ぺきに出来ている。また、パソコン機器類の知識については、現場社員のパソコンの教育がなかなか時間を取ることが難しいので、対策を考える。		

（6）グリーン購入（事業所）ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上

目標	活動項目	実施状況	評価
グリーン購入（事業所） ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上	社内で使用する事務用品・OA 機器などはグリーン製品から選択する 毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	○ ○	ほぼ実施できた 実施できた
項目評価	事務用品は、グリーン製品の中から選ぶことが習慣化出来ているが、数値が下がっている月もあったので、定期的アナウンスをしていく。 毎週金曜日の清掃も問題なく取り組むことができた。		

（7）建設工事における周辺環境配慮

目標	活動項目	実施状況	評価
重機等を使用した騒音の可能性がある作業をする際は、周辺に配慮した取組を行う	騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒音に対する意識付けを強化する ※騒音計の設置	○	躯体工事中は継続して実施できた
騒音対策以外に、近隣住民に配慮した取組を実施する	近隣に配慮した取組を各現場ごとに工夫して行う ※コインパーキングの車両にカーシートをかける。	○	近隣駐車場に人員を 2 名常駐させ、利用者への説明を徹底することができた
項目評価	昨年度から新しく取り組むことになった項目であったが、十分に目標達成できたといえる結果であった。前回と目標や活動項目が大きく変わったが新しい着眼点で、周辺住民の理解を得ることが出来たと考える。		

実際の活動の一環

8. 次年度の環境経営計画

(1)施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	電気使用量削減(施工現場)	古川	1	間引き照明の実施，LED照明の採用	作業所長	←→	←→	←→	←→
			2	使用頻度の低い箇所の照明OFF		←→	←→	←→	←→
			3	パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←→	←→	←→	←→
2	重機・機械類の環境配慮(協力会社へ依頼)	古川	1	エコドライブの励行	作業所長	←→	←→	←→	←→
			2	ハイブリッド車の積極導入		←→	←→	←→	←→

(2)施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標	取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
					4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現場事務所での節水	古川	1	節水活動の推進	作業所長	←→	←→	←→	←→
施工現場での節水	古川	2	協力会社への依頼	作業所長	←→	←→	←→	←→

(3)産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	リサイクル率85.0%を維持する	古川	1	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	中山	←→	←→	←→	←→
			2	現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に行い、責任者に報告する		←→	←→	←→	←→
			3	産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイクルについて確認する		←→	←→	←→	←→

(4)本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力＋車輌の燃料(平成 29 年度実績を維持する)

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	電気使用量削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1	パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←→	←→	←→	←→
			2	エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←→	←→	←→	←→
			3	エアコンフィルターの清掃	松ケ下	←→		←→	
			4	昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←→	←→	←→	←→
2	ガソリン使用量前年度削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1	車の空調温度を適正に設定する	山下	←→	←→	←→	←→
			2	社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←→	←→	←→	←→

(5)本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の削減	井上	1	会議などの開催案内はメールでする	稲尾	←→	←→	←→	←→
			2	事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←→	←→	←→	←→
			3	パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←→	←→	←→	←→
			4	分別の徹底	井上貴	←→	←→	←→	←→

(6)グリーン購入(事業所)ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%	江口	1	社内で使用する事務用品・OA機器などはグリーン製品から選択する	江口	←→	←→	←→	←→
2	周辺環境に配慮した行動の促進	〃	2	毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	井上貴	←→	←→	←→	←→

(7)建設工事における周辺環境配慮(近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する)

取組目標		取組目標責任者	活動項目		活動項目担当者	スケジュール			
						4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	重機等を使用した騒音の可能性がある作業をする際は、周辺に配慮した取組を行う	井上	1	騒音測定器等や、超低音重機を現場に設置し、騒音に対する意識付けを強化する	松尾	←→	←→	←→	←→
2	騒音対策以外に、近隣住民に配慮した取組を実施する	〃	2	近隣に配慮した取組を各現場ごとに工夫して行う	井上	←→	←→	←→	←→

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物（汚泥、木くず等）
建設リサイクル法	対象工事の届出、解体工事業の登録・更新
騒音規制法	くい打ち機

上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

まだ新型コロナウイルス感染対策等により業務体制を見直し、オンライン会議や、ペーパーレス化を導入し、SDGsの推進をしてきました。一部の環境計画目標を達成できませんでしたが、原因を追究し、引き続き削減目標を推進していきます。新社屋が完成して１年間が経ち、新たなデータも分析して、目標達成に向けて全社員一丸となり、活動を取り組んでいきます。

以　上